

ゴ ミ ゼロ 5 3 0 レポート

第43号 2006年11月30日 発行

編集と発行 530運動環境協議会
〔豊橋市今橋町1番地 豊橋市役所環境政策課内 電話(0532)61-2414〕
〔URL <http://www.530.toyohashi.aichi.jp> E-mail 530@city.toyohashi.lg.jp〕



市制100周年記念 ～530のまち環境フェスタ特集～

今年、豊橋市は市制施行100周年を迎えました。例年、本協議会が9月に行っていましたごみ減量・省資源等をテーマとした「環境市民530大集会」、「530フェア」と上下水道局・豊橋市が7月に行っていました、水の大切さ・水質浄化をテーマとした「アクアフェスタ」を統合し、「530のまち環境フェスタ」として開催しました。

公会堂の環境市民530大集会では、表彰式などの式典をはじめ「地球温暖化防止セミナー」を開催しました。市役所市民広場・市民ホールなどでは、530運動環境協議会会員の展示をはじめとして参加者が見て、触れることができる体験型の内容を数多く盛り込み、約4,000人の市民の皆さんに楽しんでいただきました。



目次

530のまち環境フェスタ	
(1)環境市民530大集会・講演会	
「私たちの暮らしと地球温暖化対策」伊藤達雄さん 2
(2)環境ふれあいフェア・暮らしと水 水と人とのふれあい・	
リバーウォークとよがわ・クイズラリー	... 2
幼児環境教育特集～各園の取り組みを紹介しす～ 3
530運動のモニュメントを設置しました 4
豊橋まつりに出展しました 4
編集後記 4



530のまち環境フェスタ

【環境市民530大集会・講演会】

「私たちの暮らしと地球温暖化対策」～地球温暖化防止セミナー～

私たちがこのまま石油資源などのエネルギーを大量に消費する生活を続ければ地球温暖化が一層進み、気温の上昇により、かんばつや大雨など様々な異常気象を引き起こすだけでなく亜熱帯に住むマラリア蚊などが日本でも生息するようになるなど生態系への影響も出てきます。温暖化の原因となっている二酸化炭素の発生を抑制するために、各国での取り組みが必要とされており、地球温暖化防止京都会議では、二酸化炭素の排出量の削減を定め達成するために取り組んでいます。

日本でも石油等の化石燃料の消費を減らすために、日本の持つ先進的な技術により二酸化炭素の削減を図っています。例えば、1995年から10年間で約40%も消費電力減らしたエアコン製品が作られるようになりました。また、家電製品の買い換えの際には、省エネタイプの製品を選ぶことでも二酸化炭素の削減をすることができます。さらに、私たちの生活の中においても省包装やマイバックの利用、エアコンのこまめな調整、自家用車のアイドリングストップ等のちょっとした工夫でエネルギーの節約とともに二酸化炭素の削減をすることができます。今後とも知恵と技術をもって、みずから二酸化炭素の削減に取り組むことができるのは唯一私たち人間であり皆さんにもぜひ取り組んでいただきたいと思えます。



伊藤達雄氏

プロフィール：名古屋産業大学名誉学長・特任教授で愛知県地球温暖化防止活動推進センター長

【環境ふれあいフェア】

市民広場にはごみ減量や省エネをテーマとした530運動環境協議会会員によるブースが数多く並びました。簡単に出来る生ごみ処理の方法や環境に配慮したビンの紹介、リサイクル品の配付をはじめ、天然ガス車やエコカーの展示、太陽光発電やエネルギーの効率の良い使い方などを紹介しました。また、その他にも自転車・家電・オーディオ・玩具などの再生品の展示、古本の展示や配付等を行いました。

豊橋公園では「フリーマーケット」が開かれました。一般家庭から募集した約100店が、衣料品、おもちゃ、食器類などを販売し、多くの方で賑わいました。また、「プラスチックリサイクルコーナー」では私たちが普段分別しているプラスチック(資源)がどのようにプラスチックリサイクルセンターで処理され、リサイクルされてゆくのかを紹介しました。また、実際にリサイクルされた車止めやプラスチックレンガなどを展示しました。



【暮らしと水 水と人とのふれあい】

市民ホール・市民ギャラリーの「簡易水質測定コーナー」では、身の回りの水の汚れを測る簡単な実験や、生活排水をきれいにする方法などを紹介しました。日頃飲んでいる水道水を含む三種類の水を飲んで産地を当てる「きき水コーナー」には、約300人が参加し、水道水も冷やせばミネラルウォーターに劣らないという声が多く寄せられました。また、その他にも川や水に関するパネルの展示を行いました。



【リバーウォークとよがわ】

豊川周辺では、歩きながら川の大切さについて考える「リバーウォークとよがわ」が行われました。市役所から折り返し地点の「かわっこ資料館」までを往復する約4kmの道のりで、カヌーの試乗などができ、大人から子供まで楽しみながら約400人が完歩しました。また、ニジマスつかみどりには幼・保育園生から小学生まで約600人が参加し、捕まえたニジマスを持ち帰りました。



【クイズラリー】

リサイクルや水についてのクイズ10問にチャレンジするクイズラリーは、フェスタ会場の各ブースにヒントが隠されており、約2,000人の来場者が各ブースを回って、挑戦しました。



幼児環境教育特集 ～各園の取り組みを紹介します～

環境教育は幼少期からの取り組みが欠かせません。そこで、平成16年度から、幼児環境教育を行ってきました。今年は市内60園(ブラジル人学校含む)の幼・保育園を回り、延べ6,400人の園児に物を大切に使うこととごみ分別・リサイクルの大切さを伝えてきました。今年受講した園からとったアンケートでは、およそ50%の園で子供たちがごみの分別を行い、分別に対する意識が高まったと答えています。

こうした日常でのとりくみが授業で伝えたことの確実な定着へとつながってゆくことでしょう。

ここで、各園の取り組みを紹介したいと思います。(順不同)

岩田保育園

環境教育の授業を受け、子ども達にとってごみの分別はより身近な事として感じる事が出来るようになりました。また園の中でも実際に子ども達自身で出来る事を取り入れています。

各保育室には「もやすごみ」「プラスチックごみ」の2種類のごみ箱を設置し子ども達自身が考え、ゴミの分別に取り組んでいます。

また、園の周辺には神社や公園が多く、よく散歩に出かけます。日頃は遊ぶ為に出かける場所で、「530運動」としてみんなで「ごみ集め」をします。子ども達は真剣で、用意したゴミ袋はすぐいっぱいになってしまい、ごみの多さに驚きます。子ども達にはこうした場所もきれいに使うこと、自分の

ゴミはきちんと持ち帰ること、なによりもごみは捨てない、出さないようにする事を教えています。



花園幼稚園

環境への取り組みのひとつとしてごみの分別に力を入れています。日常、園の中の生活から出るごみを「もやすごみ」「プラスチックごみ」「こわすごみ」の3つに分別しごみ箱にもごみの種類ごとの色やキャラクターをつけ子供達自身で分別できるようにしています。だいが分別できるようになりましたが、分

からない場合はみんなでどのごみに分別すればよいか考えるようにしています。



正林寺保育園

豊橋市がごみの6分別を義務付けた平成11年7月からごみの分別に取り組んでいます。もやすごみともやせないごみのごみ箱を用意し、年少児用のごみ箱にはパンダとライオンの動物マークをつけ、まだ字が読めなくてもごみを子供自身で分別できるようにしています。

授業を受けてからはビデオの中で流れる「きれいってみんなすき!」の歌を歌ったり、ごみの分別だけでなく物を大切にし、ごみを出さないこと

や自分たちの身の回りをきれいにすることも子供たちに教えています。



吉田方保育園

幼児環境教育では530キャラクター「トントン」の話を通してクイズに答えたりしながら、楽しくごみの分別方法を学んだり、リサイクルについて興味を持つことが出来ました。今年で3回目の受講になりますが、園では「もやすごみ」「プラスチックごみ」の2種類の分別のごみ箱を作り、工作やおやつ、給食などその都度分別を実践しています。実際に、おやつのお菓子の袋の裏に書いてある「プラ」のマークを見つけ「これプラスチックだって!」という声が聞かれるようになりました。

子供たちの身近な物を通して、ごみの分別やリサイクルに取り組んでいます。





530運動のモニュメントを設置しました

豊橋市の東部丘陵地には葦毛湿原を中心とした豊橋自然歩道があります。この自然歩道に多くの人が訪れるようになった時、ごみも捨てられるようになってしまいました。昭和50年5月、「自分のゴミは自分でもちかえる」のが登山者のモラルであり、社会全般に通じることだと考えた豊橋山岳会の夏目久男さんが「自分のゴミは自分でもちかえりましょう」の合い言葉で530運動を提唱され、一大市民運動に発展しました。

近年、530運動の一環として、幼児環境教育やごみを減らすキャンペーン活動などを始めました。使い捨てや物の溢れる現代では、ごみを拾うことだけではなく、ごみそのものを減らすことが必要だと考えたからです。

しかし、これは530運動という長い活動の中の一部に過ぎません。これからも、その時代に合った新たな取り組みが必要とされるでしょう。

今年、私たちのまち豊橋が市制施行100周年を迎えたことを記念し、豊橋駅前東口ペディストリアンデッキに530モニュメントを設置しました。『環境にやさしいまちづくりを目指す』と記されているモニュメントは、これから生きる人たちに、530の精神を引き継ぐ道しるべとなることでしょう。



豊橋まつりに出展しました

2006年10月21日・22日、豊橋まつりに出展しました。今年は市民球場内にブースを設け、活動を紹介するパネルの展示や環境教育ビデオを上映しました。また平成16年度から行っている幼児環境教育の教材を使用して、530クイズ（ゴミ分別クイズ）を行いました。用意した約10個のごみを3種類に分別するこのクイズは（幼児環境教育のなかで）幼・保育園でも行っています。ブースには多くの家族連れが訪れ、家族で分別にチャレンジする姿も見られました。今年は約350名の方にクイズに参加していただきました。



530会員募集のお知らせ

530運動環境協議会は、環境美化活動から省資源・省エネルギー、循環型社会の推進、環境教育など、今後も様々な取り組みを行い、ごみがゼロになる社会を目指します。本協議会では活動に参加・協力していただく会員を募集いたしております。法人・団体会員は1口1万円、個人会員は1口500円、いずれも年間費で1口以上です。申し込みは協議会事務局窓口のほか、ホームページからできます。

編集後記

幼児環境教育は、今年で3年目になります。今年は市内の幼・保育園だけでなくブラジル人幼稚園とブラジル人学校にも訪問しました。日本語の分かる先生に通訳していただきながら元気に授業に参加していただきました。話によるとブラジルではごみの分別がないそうです。しかし、豊橋で暮らして行くには分別を守らないといけません。この授業を受けた子供達が家に帰り、家族と話すことで少しでもごみの分別の理解が深まることを期待しています。